

「ひたむき・ぬくもり・さわやか」を共に大切にする

山口県一美しい福栄小中学校

皆様、こんにちは。お世話になります。
萩市立小中一貫教育校 福栄小中学校の校長の
柳林 浩一（やなぎばやし こういち）です。
保護者や地域の皆様、関係者の皆様、そして、この
ホームページをご覧いただきました皆様、どうぞよ
ろしくお願いいたします。



平成28年の4月、福栄地域の2つの小学校（紫福小学校・福川小学校）の
統合を機に、「萩市立小中一貫教育校 福栄小中学校」が山口県初の小中一貫
教育校としてスタートを切りました。

平成29年度は、児童数52名、生徒数29名、計81名、小中の教職員数
計25名（非常勤講師、市雇用の職員も含めて）で、小中一貫教育校2年目の
教育活動に取り組んでいます。

《学校教育目標》

「ふるさと福栄」に思いを寄せ、志を抱き、未来を切り拓く力を身に付け
た児童生徒の育成

《めざす学校像》

「ひたむき・ぬくもり・さわやか」を共に大切にする 山口県一美しい福
栄小中学校

《めざす児童生徒像》

○ひたむきな児童生徒 ○ぬくもりのある児童生徒 ○さわやかな児童生徒

9年間を見通した学校教育目標のもと、めざす学校像やめざす児童生徒像を
児童生徒、教職員が共に意識しながら、学校づくりを進めています。

めざす学校像とめざす児童生徒像の両方にある「ひたむき・ぬくもり・さわ
やか」の3つのキーワードをひと言で表現すると、「誠実」という言葉になろ
うかと思えます。「いつわりのない、心がこもった言動がとれる児童生徒」を
義務教育の9年間で育てたいのです。

また、めざす学校像の中の「山口県一美しい」という文言には、学校の景観
や学校内外の美しさだけでなく、児童生徒の物事の取組の美しさや姿の美しさ、
児童生徒の心根の美しさで山口県一の学校を創っていこうという思いと願いが
込められています。山口県一の学校をめざしていくことが、福栄地域の児童生
徒の自信と誇りを育てることにつながると思っています。

小中一貫教育で最も大切にすべきことは、「一貫性」だと思います。一貫性
とは「軸がぶれないこと」だととらえています。「ふるさと福栄で学ぶ」そし
て、「ふるさと福栄のひと・こと・ものに学ぶ」ことを大切にするすることで、「ふ
るさと福栄」にしっかり体重がかかった児童生徒を育てたいと強く思います。

そのためにも、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力は欠かせません。
本年度も、どうぞよろしくお願いいたします。